

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に理念の振り返りを行い実践の中で活かせるように取り組みをしている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナにより関係構築が困難ではあるが近所を散歩する時などは気さくに声をかけて下さり、簡単な交流は出来ている。	行事への参加等、相互的に交流を図れるよう、機会を設けていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より運営推進会議を再開でき、地域の方、家族の方から意見をもらうことが出来ている。	地域の方やご家族などに客観的なご意見をいただき、より良い運営につなげる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	空き状況の提供を行い困難事例や緊急性の高い方の受け入れなどに繋げている	運営推進会議などで高齢者支援センターの職員と情報交換を行い、より良い運営につなげる。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な研修と、委員会を通して振り返り、反省を行い、常に身体拘束のないケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束をしないケアの実践に向け、しっかり取り組まれており、安心できる。今後は運営推進会議で具体的な内容を教えて頂けるとさらに関係者の理解が深まると思う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な研修を実施し、身近な声掛けでも虐待に繋がる可能性があることを意識しケアを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身近な声かけですら虐待になりうることを意識してケアを行っているとのこと。職員の学びの場が設けられていることがよく分かる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実際に成年後見制度を利用している方もおられ、勉強会等で知識の習得ができるようにしている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時には金銭的な説明以外にも日常生活のこと、今後のことなど十分に時間を取り説明し、安心してもらえるようにしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議や、面会時にもご本人の様子を伝える中で意見や希望を聞く機会がありケアに取り入れている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議にご家族が出席されており、意見や要望を反映しようとしている姿勢が窺える。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的にミーティング、勉強会を行い、日頃の業務の中での疑問や改善点について話し合いを行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	評価基準を設け、評価を行っている。働きやすい環境になるよう面談も実施している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	評価基準を設けたり、面談を行っているということで、スタッフにとって働きやすい職場となるよう配慮されている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職場内での実践による学習、内部での研修のみではなく外部への研修にも積極的に参加している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部への研修にも積極的に参加するよう取り組まれているということで、スタッフの育成に力を入れている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	困ったことや取り組みに関して他施設の方に相談を行ったり、運営推進会議などでも情報交換を行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者個人ごとに出来る事は違いますが、何が出来るか共有し合い、出来る事にはしっかりと取り組んでもらっている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナにより、家族との面談も十分に行えていなかったが、状況を見ながら面会緩和を行い、少しずつだが交流ができるようになってきている。	まずはコロナによる面会の制限の緩和を徐々に行って欲しい。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランの見直し時に本人、家族とも話を行い、どのような思いがあるのか確認するようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者担当スタッフを決めており、プランの見直しを行う時には計画作成担当者が一人で決めるのではなく現場からの意見も取り入れ見直しを行っている。	運営推進会議で介護計画の事例を共有し、意見を求めているかどうか。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画を担当のスタッフが一人で考えるのではなく、他のスタッフの意見も反映できるよう取り組まれており、その方にとってのケアをアイデアを出し合い考えていることが窺える。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランの内容を反映した記録にするようにしているが不十分な面もあり、今後改善の必要がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録業務は思った以上に時間がかかり大変だと思います。日々のケアでのちょっとした気づきが記録に残り、スタッフの共通認識になればいいですね。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自施設だけで完結せず、主治医や訪問看護事業所とも連携を図り、さまざまなニーズに対応できるようにしている。	他の施設の事例を共有し、可能性を広げてはどうか。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を活用し、地域での取り組みなどを把握し、地域のお祭り、子供神輿など参加している。	地域や高齢者支援センターと情報共有を行い、地域資源を把握する。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の希望に合わせて往診対応も可能となっており、きめ細かい医療との連携が図れている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の受け入れ先が決まったら本人の日常の様子など本人の様子を伝え、スムーズな受け入れに繋がるようにしている。また受診時もスタッフが付き添うことで家族の不安を取り除くようにしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先への情報提供や病院への付き添いなど、ご本人、ご家族が不安にならないよう対応されている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている	入居時、体調の変化があった場合にも話し合いを行い、必要があれば主		A. 十分にできている B. ほぼできている	終末期の意向は変化します。ACPは折に触れ実施し、見直しされることをお勧めします。

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	治医とも話が出来るように支援している。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の連絡体制の周知、主治医との連携などは入職時に説明を行っている、初期対応に関しても心肺蘇生法などの勉強会も行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年二回の火災の避難訓練、土砂災害訓練も年に一回は実施し、より実践に近い形になるように計画している。	非常災害時の事業継続計画(BCP)を共有する。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練において、1階の入居者を全員2階へ移動し、しばらくそこで待機したことで、課題と対策が見つかったと報告があったように、より実践的な災害対策を行われていることが分かる。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声掛けの内容、入浴・排泄時の羞恥心への対応など、会議を通して振り返りを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症になっても人格を持った人として、尊厳を守らなければいけないという基本的なことをよく理解して対応している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね時間での流れは決まっているが、状況や本人の思いを尊重できるように時間にはゆとりをもたせるようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誕生日等の行事の際には皆さんの食べたいものを聞き、一緒になってご飯を作ることも取り入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に個々の能力を活かし、食事の準備等を一緒に行われている様子を運営推進会議で報告してもらった。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事摂取量、水分量の把握、定期的な血液検査でも栄養状態の把握を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを行い、不十分なところはスタッフも介助を行っている。訪問歯科の先生とも連携を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科と連携し、口腔ケアに力をいれている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に排便のタイミングを共有しトイレで排便が行えるように工夫している。排便コントロールも常に見直しを行い、体調に合ったコントロールを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを把握し対応されているということで、排泄ケアの重要性を認識されていることが窺える。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴に関してはスタッフの都合で概ね時間は決まっているが、体調に合わせた調整や入浴剤などを使用し楽しんでもらえるように努めている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間にしっかり眠ってもらえるように日中にはリハビリやできることに取り組んでもらうなど活動的に過ごしてもらるようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診時主治医から薬の効果、副作用などの説明を受け服薬後からの変化に気付けるように情報共有を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	単なる服薬介助ではなく、副作用の説明を受けた上で、服薬後の変化に注意している点で、服薬支援の重要性を理解されていることが窺える。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別レクや家事の手伝い、何もしたくないと言われれば傍で話を行うなど生活の中に少しでも楽しみが出来るようにしている。	他施設との事例の共有を図り、入居者ができることを選択肢を増やし、一人ひとりに合った支援を提供する。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	花の水やり、ごみ捨て、洗濯物と取り込みなど細かく外の空気が吸えるようにしている。また散歩では家族と一緒にってもらったり畑の植え付け、収穫なども利用者で行い少しでも外に出てもらえるように工夫している。	コロナ禍でもできる外出支援を他施設と共有する。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金への理解が困難なため、現状としては職員が管理している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話のやり取り、家族との手紙でのやり取りなど本人の能力に応じて支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	壁画やカレンダー作りなどで季節を感じてもらえるように工夫している。混乱するような環境ではなく、衛生管理にも気を付け気持ち良く生活してもらえるようにしている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	壁画やカレンダー作りを利用者と行われている写真を運営推進会議で見ている。季節感を感じられるよう気を配っておられる様子が窺える。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃のコミュニケーションの中で出てきた気持ちや希望をケアに取り入れるように努力している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や趣味など入居前に情報収集を行い、好きなことや興味のあることに取り組んでもらえるように支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医とは診療時に細かく情報のやり取りを行い、今の健康状態を把握した上で日常生活の支援を行っている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医としっかり連携がとれている様子なので、利用者も安心して生活が出来ていると思う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの習慣を失念している方も多いためである程度時間軸を決めて生活しているが、声かけを行いながら無理強いしないケアを心がけている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と話をし、家族写真や飾りなどご本人が喜んでくれそうなものは身近に置いている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族とのコミュニケーションもしっかり図られ、ご本人を把握し、居心地よく過ごせるよう努めておられる。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事を企画し、声掛けを行い、無理強いしないように参加を促している。特に地域の行事にはなるべく参加できるようにしている。	地域資源の把握により参加できる機会を増やす。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事や調理など楽しみながら行えるように傍で声掛け、必要に応じて介助しながら取り組んでもらえている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リハビリや余暇時間などを活用しコミュニケーションのきっかけにしている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リハビリや余暇活動等を会話のきっかけとし、コミュニケーションを図ろうとしている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩中には近所の方があいさつや話しかけてくれるようになってきている。地域行事に関しても出来る限り参加できるように調整している。	地域資源を共有し、関わる機会を増やす。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族、地域の方との繋がりを大切にしながら、日々変化のある利用者様の状態を把握共有しながら少しでも良いケアができるように取り組んでいる。	入居者の暮らしが見えるよう、できる範囲で日々の様子を共有する。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にて、ご家族が安心しておられる様子が窺え、面会時のご本人の様子等から、良いケアが行われていると伝わっていると思う。